# 令和4年度(2022年度)

# 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程学生募集要項

## 【目次】

第	1	募集人員	1
第	2	出願資格(一般選抜)	1
第	3	資格認定希望者提出書類	2
第	4	出願手続	2
第	5	出願書類等	3
第	6	受験票	4
第	7	試験日程及び選抜試験内容等	4
第	8	合格発表 1	2
第	9	入学手続 1	3
第	10	個人情報の取り扱いについて 1	3
第	11	美術研究科博士(後期)課程の概要1	4
第	12	履修課程及び修了要件1	5
第	13	授業等の内容1	5
		論文博士について 1	19

## 【問合せ先】

京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6 TEL:075-334-2238 FAX:075-334-2281

#### - 大学院美術研究科博士(後期)課程の教育・研究目的 -

美術研究科博士(後期)課程は、専門分野についての理論的な考察と実践によって次世代を担う芸術家及び研究者を養成し、また高度な創造と研究を通して、国内外の芸術文化に 貢献することを目的とします。

### ◆アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

美術研究科博士(後期)課程は、以下のような人を求めています。

- 1 芸術に関する専門性を持ち、芸術および文化に対して幅広い興味、深い理解を有する人
- 2 独自の表現と研究方法による、芸術と世界との新たな関係性の創造に意欲的である人
- 3 研究成果を社会に発信する能力の確立に積極的である人

### ◆カリキュラム·ポリシー(教育課程編成·実施の方針)

美術研究科博士(後期)課程は、以下の考え方に基づき、カリキュラムを編成し、実施します。

- 1 各領域に特化した専門家による演習を介し、創造及び研究の実践に必要な高度な専門知識や技術を習得すること
- 2 領域横断的観点を有する識者との討論,演習等により,先鋭的創造及び研究を行う能力を身につけること
- 3 美術の今日的問題や研究課題に関する講義, 討論, ワークショップを通し, 研究成果の社会的発信力を養うこと

#### ◆ディプロマ·ポリシー(修了認定·学位授与の方針)

美術研究科博士(後期)課程は、修了時までに達成すべき目標を以下のとおりとします。

- 1 あまねく芸術, 文化, 社会に関する事象から導かれる高度な専門性の修得
- 2 尖鋭な視点と広範な視野に基づく,新たな地平を創造し得る表現や研究方法の確立
- 3 創造および研究活動の成果を社会に発信,展開し,新たな芸術文化の牽引者たり得る能力の修得

#### 1 募集人員

美術研究科博士(後期)課程

標準修業年限3年

専 攻	研究領域	募集人員
美術	研 完 領 西 田 画 画 画 画 画 画 画 画 画 画 画 画 一 神 が が ・ デ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ	

注 出願は,一つの研究領域に限る。

## 2 出願資格 (一般選抜) ※ (1)~(8) のいずれかに該当する必要があります。

- (1) 学校教育法第 104 条第1項の規定により修士の学位または専門職学位を有する者及び令和 4 年 3 月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において,外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において 位置付けられた教育施設であって,文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し, 修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与 される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校,第4号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに24歳に達する者
- 注 出願資格(8)の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続きを要するため、「3 資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

### 3 資格認定希望者提出書類

出願資格(8)に該当する者は、出願資格認定審査等の手続きのため、令和3年(2021年)12月10日(金)[必着]までに連携推進課入試担当へ下記の書類を郵送又は配送すること(持参不可)。封筒表面に「美術研究科資格認定希望」と朱書してください。結果は令和4年(2022年)1月13日(木)までにお知らせします。

#### 「提出書類]

- 履歴書(卒業・修了後の経歴を具体的に記載したもの。押印のうえ,写真を貼付)
- 業績書(志望研究領域,著書,論文,展覧会出品歴,受賞歴等を記載したもの) (A4 縦長・横書)
- 所属長の推薦書(出願時において各種の企業, 研究機関又は教育機関に, 正規職員として勤務し, 入学後もその身分を有し, 所属長より推薦を受けた者のみ)
- 日本語能力証明書(外国人留学生のみ) (公的機関又は学習した機関による証明書。学習期間が記載され、読む能力、書く能力、話す能力ごとにレベルのわかる内容のもの)

#### 4 出願手続

- (1) 受付期間 令和 4 年(2022 年)1 月 17 日(月)~1 月 20 日(木) 期間中の消印を有効とします。宅配の場合は、期間中の受付日が記載されているものを有効とします。
- (2) 出願方法 下記提出書類一式を必ず**簡易書留・速達**で郵送,又は宅配業者により配送してください(直接大学に持参されても受け付けません)。 封筒の表に「美術研究科博士(後期)課程入学願書在中」と朱書きしてください。
- (3) 事前相談 志望する研究領域に確認したい事項等があれば下記のとおり問い合わせてください。面談を希望する場合はその旨を記載してください。ただし、面談を行うかどうかは研究領域において判断しますので、ご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・受付期間 令和3年11月12日(金)~12月21日(火)
- ・問合せ方法 下記アドレス宛に必要事項を記載し送付してください。
  - ・記載事項:氏名・電話番号・志望する研究領域名・質問事項
  - E-mail: admission-arts@kcua.ac.jp※ 返信に時間を要する場合があります。
- (4) 出願問合せ先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6

京都市立芸術大学連携推進課入試担当

(Tel 075-334-2238) (E-mail: admission-arts@kcua.ac.jp)

### 5 出願書類等

- (1) 入学願書(本要項内の「入学願書」を A4 サイズの用紙にプリントアウトのうえ使用すること) 記入する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。その他の提出書類についても同様とします。
- (2) 成績証明書 修士課程(又はそれに相当する課程)における成績証明書
- (3) 修士課程(又は博士前期課程)修了(又は修了見込)証明書
- (4) 写真2枚

出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、大きさは縦4cm×横3cmとします。 なお、2枚とも必ず裏面に志願者の氏名を記入し同封してください。

(5) 郵便振替払込請求書兼受領証のコピー 入学考査料の払い込みに係る受領証のコピーを同封してください。

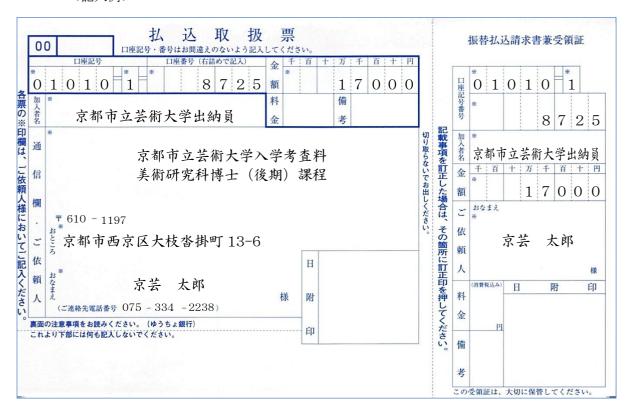
「入学考査料の払い込みについて」

郵便局窓口で「払込取扱票」により、入学考査料 17,000 円を払い込んでください。 払込機能付きのATMからの払い込みも可能です。払い込みには別途手数料がかかります。

なお, 願書提出後, 入学考査料は一切返還しません。

	払込取扱票への記入事項							
	座 記	号番	号	01010-1-8725				
金			額	17000				
加	1 入 者 名 京都市立芸術大学出納員							
通	通信欄			京都市立芸術大学入学考査料美術研究科博士(後期)課程				
ĵJ	依	頼	人	志願者本人の住所・氏名・連絡先電話番号				

#### <記入例>



#### (6) 返信用封筒

定形封筒(長形3号)の宛名に志願者の郵便番号,住所,氏名を記入し,664円分の切手 (簡易書留・速達)を貼付してください。

(7) パスポートの写し(外国人留学生のみ) 外国人留学生(本学研究留学生を含む)は、パスポート(顔写真のあるページ)の写しを提 出してください。

#### (8) 誓約書

用紙は本要項の最終頁

- ※ 外国籍の方は押印のかわりにサインでも構いません。
- 注 1 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本や 運転免許証の写し等)を添付すること。
  - 2 外国語で記載された書類を提出する場合は、日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。
  - 3 官公庁その他会社等に在職中又は現在他大学の大学院に在籍中の者は、出願前に勤務先又は在籍する大学院の学長の受験許可が必要な場合がありますので、勤務先又は在籍する大学院の規程等を十分に確認のうえ出願してください。

#### 6 受験票

提出書類を完備し,上記の出願手続を行った者には,本学から受験票を送付します。 受験票が令和4年(2022年)2月15日(火)までに到着しない場合は,連携推進課入試担当まで 電話で問い合わせてください。

#### 7 試験日程及び選抜試験内容等

#### ※ 試験内容や実施方法の変更について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年と試験内容や実施方法が大きく異なっています。 各専攻の試験日程及び試験科目をよく確認し、準備するようにしてください。 なお、今後追加の変更がある場合は、本学ホームページでお知らせします。

- 注1 受験の詳細については、事前に受験票とともに郵送によりお知らせします。
  - 2 口述試験については、各研究領域により実施方法が異なりますので、ご注意ください。
  - 3 語学試験については、今年度は実施しません。ただし各領域の試験として、提出作品・ポートフォリオ・論文の要旨を英語又はフランス語で作成し、提出してください(要旨の提出を求めない領域もあります)。詳細は「7(4)各研究領域の試験内容」を参照してください。また、口述試験内で、語学運用能力が審査の対象の一部となることがあります。進学後の研究・制作に必要となる語学力については入学までに各自が向上させておくよう努めて下さい。
  - 4 課せられた試験(作品及び論文の提出を含む)のうち一つでも受験しなかった場合は失格となり、以降の試験の受験資格を失います。
  - 5 入学試験当日に受験できなかった場合,追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。
  - 6 【対面面接を実施する研究領域のみ】

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症,インフルエンザ,麻しん,水痘等)に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は,他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので,原則として受験をご遠慮願います。ただし,症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は,この限りではありません。また,試験当日の検温で,37.5 度以上の発熱がある場合や,保健所から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている方,過去2週間以内に政府から入国制限,入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した方なども,原則として受験をご遠慮願います。

7【対面面接を実施する研究領域のみ】

試験当日は症状の有無にかかわらず、マスクを持参し、昼食時や試験監督者等から指示があった場合を除き、常に着用してください。

- 8 新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によっては、学生募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施する可能性があります。また、状況が改善した場合、マスクの着用などを不要とする可能性もあります。それらの場合は、本学ホームページ (https://www.kcua.ac.jp)で随時、お知らせいたします。
- 9 作品等の提出は各研究領域の指示に従い、各自の責任において行ってください。
- 10 郵送もしくは宅配便で提出する論文,小論文,作品写真ファイルについては,「研究領域」「氏名」記載のうえ,下記まで送付してください。

#### 〒610-1197

京都市西京区大枝沓掛町 13-6 京都市立芸術大学連携推進課入試担当 TEL:075-334-2238

11 提出方法として Dropbox を指定している場合は、Dropbox のファイルリクエスト機能により提出してください。

作品ファイルをアップロードするためのリンクを,令和4年2月15日(火)までに発送する本学からの受験票発送と同時に,入学願書に記載されたメールアドレスに送付します。

メールで送付したリンクを開くとアップロード画面に移るので、提出したいファイルを選択してアップロードしてください。

なお、ポートフォリオのアップロードにあたり、Dropbox のアカウントを作成したり、アプリをインストールする必要はありません。

メールが2月15日(火)までに届かない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせること。

提出期限は、令和4年2月21日(月)23時59分59秒とします。

(特別な事情がなく、上記期限までにファイルのアップロードがなかった場合は、受験を認めません。)

- 12 作品等の返却については、合格発表後に行いますが、日本画・油画等は口述試験当日に搬出していただきます。また返却を行わない研究領域がありますので、ご注意ください。
- 13 作品等の返却にかかる費用は志願者負担となります。返却用の伝票(着払い伝票)を作品等の提出時に同封してください。ただし、海外(日本国外)への返却には対応できません。
- 14 オンライン面接試験当日には必ず受験票を準備してください。本人確認に使用します。
- 15 オンラインで面接を実施する研究領域においては、実施方法や面接日程など詳細について 今後改めてお知らせします。なお、令和4年2月27日(日)にテスト通信を実施しますので、 予定を空けておいて下さい。

以下の内容を確認し、オンライン面接を受験するための環境をあらかじめご準備ください。

- ① ビデオ通話が可能な、十分に安定したインターネット接続環境
- ② ビデオ通話が可能な、カメラ・スピーカー・マイクを備えたデバイス
- ③ 受験者がオンライン面接を撮影・録音・録画すること及び内容を他者に伝えることを禁止します。
- 16 各試験は30分以上,オンライン面接は10分以上遅刻した場合は受験資格を失います。 オンライン面接につながらない場合やメールの送受信に問題があった場合は,速やかに連携 推進課まで電話で連絡してください。

連絡先:連携推進課入試担当 Ta 075-334-2238

17 オンライン面接が接続不良等の要因により実施できない場合は、別日程で試験を行う可能性があります。

18 その他試験方法について不明な点がある場合は、連携推進課入試担当までお知らせください。

京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6 TEL:075-334-2238

(1) 試験日程及び選抜試験内容

### [全研究領域]

試験日時		試験の内容等	
令和4年3月3日(木)・4日(金)	9:00~17:00	口述試験(各研究領域にて)	

(2) 作品及び論文の提出 提出小論文[全研究領域共通内容]

以下の各項目について日本語で述べよ。

- (1) これまでの制作・研究をふまえて、現段階での研究テーマと問題意識 (研究テーマと関連する写真図版 3 点以内を含めること) 2,000 字以上
- (2) 博士課程3年間の制作・研究の計画 (各年次ごと具体的に)2,000字以上
- (3) 作品・ポートフォリオ・修士論文等に関する外国語要旨の提出

領域試験として提出する作品・ポートフォリオ・修士論文等について,要旨を英語又はフランス語で作成し,提出すること。要旨を作成する対象,様式,提出方法等の詳細については「7(4)各研究領域の試験内容」に従うこと。なお、【日本画,油画,構想設計,環境デザイン,プロダクト・デザイン,陶磁器,漆工,染織,産業工芸・意匠,保存修復】の各領域は要旨の提出を求めない。

## (4) 各研究領域の試験内容

- ※提出物及びオンライン面接における使用言語は日本語とします。
- ※日本画領域は二段階選抜を実施します。他の領域と試験日程が異なりますので注意して下さい。

## 【日本画】

• 一次試験

研究 領域	試験日時		試験内容
日本画	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	<ul><li>(1) 提出物 全研究領域共通小論文(提出部数:3部)</li><li>(2) 提出方法 郵送</li><li>※使用言語は日本語とする</li></ul>
(一次試験)	1月28日(金) 必着		(1) 提出物 作品データ (2) 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ※使用言語は日本語とする ※出願書類到着後, 願書に記載されたメールアドレスに作品をアップロードす るためのリンクを送付するので, あらかじめ提出物のデータを用意しておくこと

## • 二次試験

研究 領域	試験日時		試験内容
日本画(二次試験)	3月3日(木)	9:00~	(1) 口述試験 対面により実施(面接時間等詳細は一次試験合格発表後に指示) 試験会場:京都市立芸術大学 (2) 作品 ア作品 5点(100号~150号)(過去2年以内に制作したもの) イ提出作品についての「ドローイング、イメージスケッチ等20枚程度」 (3) 搬入日時 3月3日(木)口述試験時に持参(時間帯は一次試験合格発表後に指示) (4) 搬出日時 受験者の口述試験終了後 ※使用言語は日本語とする

## 【日本画以外の研究領域】

研究 領域	試験日時		試験内容		
	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 ア 全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イポートフォリオ1冊 (作品ファイル,ドローイングなど A1(594mm×841mm)以内) (2) 提出方法 ア・イ 郵送 ※使用言語は日本語とする		
油画	3月3日(木)	9:00~	(1) 口述試験 対面により実施(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) 試験会場:京都市立芸術大学 (2) 作品 作品5点(227 cm×182 cm以内)(過去5年以内に制作したもの) (3) 搬入日時 3月3日(木)口述試験時に持参(時間帯は受験票送付時に指示) (4) 搬出日時 受験者の口述試験終了後 ※使用言語は日本語とする		
	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 全研究領域共通小論文(提出部数:3 部) (2) 提出方法 郵送 ※使用言語は日本語とする		
版画	2月21日(月)	必着	(1) 提出物 ア作品 10 点を jpeg または PDF 形式で提出(過去2年以内に制作したもの・ファイル名を「受験者氏名」とすること イ作品全般についての英語の要旨(200 語程度)及び要旨の日本語訳を PDF 形式で提出・ファイル名を「受験者氏名」とすること (2) 提出方法 ア・イ Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ※使用言語は日本語とする		
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)		
構	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	<ul><li>(1)提出物 全研究領域共通小論文(提出部数:3部)</li><li>(2)提出方法 郵送</li><li>※使用言語は日本語とする</li></ul>		
想設計	2月21日(月)	必着	(1) 提出物 ポートフォリオ(作品写真)及び作品資料 (2) 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ※使用言語は日本語とする		
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)		

	T		
彫刻	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	<ul><li>(1)提出物 全研究領域共通小論文(提出部数:3部)</li><li>(2)提出方法 郵送</li><li>※使用言語は日本語とする</li></ul>
	2月21日(月)	必着	(1) 提出物 ポートフォリオ ・ポートフォリオについての英語の要旨(200 語程度)及び要旨の日本語 訳を含むこと (2) 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ※使用言語は日本語とする
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)
ビジュアル・デザイン	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 ア 全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イ 領域共通小論文についての英語又はフランス語の要旨(200 語程度)及び要旨の日本語訳(A4 サイズ,縦方向印刷) ウ ポートフォリオ(A3 サイズ) *ポートフォリオは返却しない (2) 提出方法 ア・イ・ウ 郵送
2			※使用言語は日本語とする
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)
環	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 全研究領域共通小論文(提出部数:3部) (2) 提出方法 郵送 ※使用言語は日本語とする
境デザイン	2月21日(月)	必着	(1) 提出物 ポートフォリオ (A3 サイズ) (2) 提出方法 PDF データで Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ※使用言語は日本語とする
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)
プロダクト	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 全研究領域共通小論文(提出部数:3部) (2) 提出方法 郵送 ※使用言語は日本語とする
シト・ デザイン	2月21日(月)	必着	<ul><li>(1) 提出物 ポートフォリオ(PDF 形式)</li><li>(2) 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること</li><li>※使用言語は日本語とする</li></ul>
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)

	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 ア全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イ著書・論文があれば添付のこと (2) 提出方法 ア・イ 郵送(返却しない) ※使用言語は日本語とする
陶磁器	2月21日(月)	必着	(1) 提出物 ア作品写真 2 年以内に制作した作品 3 点以上の作品において、各作品、正面、裏面、右側面、左側面、上面、底面の 6 カット (大型の作品や底面の撮影が不可の場合は 5 カット)と細部 (ディティール)を 2~3 カット,計 8 カット程度の jpeg 形式の作品写真を提出作品写真のファイル名に受験者氏名、タイトル、正面、裏面、右側面、左側面、上面、底面のいずれかを記載※例「受験者氏名=○○○○○(タイトル)=正面. jpeg」作品の細部の写真ファイル名は受験者氏名、タイトルを記載すること※例「受験者氏名=○○○○○(タイトル). jpeg」イポートフォリオ(作品写真ファイル) 各作品の制作年、タイトル、技法、サイズを明記すること (2) 提出方法ア Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること イ郵送(返却しない)
	3月3日(木)~	9:00~	※使用言語は日本語とする オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)
<b>漆</b> 工	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 ア全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イポートフォリオ(作品写真ファイル)(2冊まで) ・ポートフォリオ(作品写真ファイル)では、各作品の写真の近くに制作年、タイトル、技法、サイズを明記すること ・2年以内に制作した作品3点の写真を必ず含むこと2年以内に制作した作品写真の撮り方平面作品:画面の全体写真と、特徴的な部分の写真立体作品:全体の全方向(①正面,②側面,③背面,④上面,⑤斜めの写真と特徴的な部分の詳細写真、内部があれば、内部の写真)・それ以外の作品写真の撮り方:自由 (2) 提出方法 郵送 (3) 返却ポートフォリオ(作品写真ファイル)の返却は国内のみ、着払い伝票を同封すること ※使用言語は日本語とする
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)

	1	1	
染織	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 ア全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イポートフォリオ(作品写真ファイル)(2冊まで) ・ポートフォリオ(作品写真ファイル)では、各作品の写真の近くに制作 年、タイトル、技法、サイズを明記すること ・2 年以内に制作した作品 3 点の写真を必ず含むこと 2 年以内に制作した作品写真の撮り方 平面作品:画面の全体写真と、特徴的な部分の写真 立体作品:全体の全方向(①正面、②側面、③背面、④上面、⑤斜めの写真と特徴的な部分の詳細写真、内部があれば、内部の写真) ・それ以外の作品写真の撮り方:自由 (2) 提出方法 郵送 (3) 返却 ポートフォリオ(作品写真ファイル)の返却は国内のみ、着払い伝票を同封すること ※使用言語は日本語とする
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)
産	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	<ul><li>(1) 提出物 ア全研究領域共通小論文(提出部数:3 部) イポートフォリオ(作品写真ファイル)(A3 以内)</li><li>(2) 提出方法 郵送</li><li>※使用言語は日本語とする</li></ul>
業工			(1) 提出物
芸・意匠	2月21日(月)	必着	作品 3 点 (2) 提出方法 PDF データを Dropbox のファイルリクエスト機能により提出することもしくは作品 HP へのリンクを下記アドレスに提出すること提出先アドレス: admission-arts@kcua.ac.jp
	3月3日(木)~	0.00	※使用言語は日本語とする
	3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示) (1) 提出物
芸術学	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 12日初 ア全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イ論文 ・修士課程を修了した者及び修了見込の者は,修士論文の写しを 提出のこと ・なお,修士課程を修了した者は,修了後の研究成果,もしくは それをまとめたもの(20,000 字以内)を添付してもよい ・上記以外の者は,30,000 字以上の論文・著作,又はその写しを 提出のこと ・上記の提出論文のレジュメ(日本語 4,000 字程度)ならびに欧文要旨 (300 語程度,英文もしくは仏文)添付のこと (2) 提出方法 郵送 ※本学修士課程修了者及び修了見込の者は,修士論文の写しの提出を 要しない ※使用言語は日本語とする
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)
	0 /1 I H (777)	l	

保存修復	出願時 1月17日(月)~ 1月20日(木)	消印有効	(1) 提出物 ア全研究領域共通小論文(提出部数:3部) イ論文 ・修士課程を修了した者及び修了見込の者は,修士論文の写しを提出のこと ・なお,修士課程を修了した者は,修了後の研究成果,もしくは それをまとめたもの(20,000 字以内)を添付してもよい ・上記以外の者は,30,000 字以上の論文・著作,又はその写しを提出のこと ・上記のレジュメを(4,000 字程度)添付のこと (2) 提出方法 郵送 ※本学修士課程修了者及び修了見込の者は,修士論文の写しの提出を要しない ※使用言語は日本語とする
	2月21日(月)	必着	<ul> <li>(1) 提出物ポートフォリオ (PDF 形式)</li> <li>・2 年以内に制作した作品写真 3 点を含むこと・ポートフォリオに関する英語の要旨 (200 語程度)を含むこと・ファイル名を「受験者氏名」とすること</li> <li>(2) 提出方法         Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること     </li> <li>※使用言語は日本語とする</li> </ul>
	3月3日(木)~ 3月4日(金)	9:00~	オンライン面接(時間帯は受験票送付時に指示)

#### (5) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(作品、論文、口述)、提出書類を総合して行います。

#### [参考]

過去3年間の語学の試験問題は、祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までの間に限り、連携推進課入試担当事務室において閲覧することができます。また、過去3年間の語学の試験問題は、著作権法上の関係により掲載できないものを除いて本学ホームページ

(https://www.kcua.ac.jp/)でも掲載しています。なお、電話等による照会には一切応じません。

### 8 合格発表

### 【日本画領域 一次選考】

令和 4 年(2022 年) 2 月 17 日(木) 午後 4 時(予定) に本学ホームページ(https://www.kcua.ac.jp/) に合格者の受験番号を掲載し、合格者には文書で通知します。電話やメールによる問い合わせには一切応じません。

### 【全研究領域】

令和4年(2022年)3月8日(火)午後4時(予定)に本学ホームページ(https://www.kcua.ac.jp/)に合格者の受験番号を掲載し、合格者には文書で通知します。電話やメールによる問い合わせには一切応じません。

### 9 入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は合格通知書と共に送付します。

(1) 入学手続期間 令和 4 年(2022 年) 3 月中旬

(2) 場 京都市立芸術大学連携推進課入試担当事務室

(3) 入学料の納付 市内出身者 282,000 円 市外出身者 482,000 円

注 市内出身者とは,入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し,住民票の写しにより証明される者。

(4) 誓約書の提出(正・副保証人)

(5) 入学料以外の納付金

学生教育研究災害傷害保険料2,600 円 (3年間分)学研災付帯賠償責任保険料1,020 円 (3年間分)美術教育後援会費50,000 円 (3年間分)

※本学出身者は30,000円, 留学生は払込不要

同窓会入会金 15,000 円 ※本学出身者及び留学生は払込不要

#### [参考]

授業料 年額 535,800 円 (前期,後期に分割納入することができます)

注 上記の入学料及び授業料は,令和3年度(2021年度)入学者の場合であり,料金の改定が あった場合は,合格者に通知します。

#### 10 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については,入学者選抜に係わる業務のほか,次のとおりです。

#### (1) 利用目的について

ア 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。

- イ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに 健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- ウ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- エ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における授業料減免及び奨学生選考等 の修学支援に係わる業務で利用します。
- オ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随 する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

#### (2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。 ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

ア上記(1)ア〜オの個人情報を取り扱う業務を,個人情報の適切な取り扱いに関する契約を 締結したうえで,外部の事業者に委託する場合

イ 本学の教育後援会,同窓会に情報提供する場合(合格者のみ)

### 11 美術研究科博士(後期)課程の概要

本博士(後期)課程は、日本の古都・京都にあって、日本の美術教育・研究の先進的中核を担ってきた京都市立芸術大学に属する高度の美術専門研究課程である。千二百年を越える芸術文化の創造的伝統が高度に集積する京都という立地条件を背景に、最高水準の研究教育の場を提供する組織として、各領域の専門的研究とともに領域を横断する知的芸術的交流を促進すると同時に、現代社会の大きな変化をふまえ、国際交流および地域社会との交流を重視している。

本博士(後期)課程の基本構想は以下の4つの柱からなる。

#### (1) 専門的研究が出会い, 深化する場

本課程は、第一に、大学院修士課程等において獲得した専門的技能及び知識を、広い視野を持ってさらに深化拡充する場として位置づけられている。この目的のため、専門研究を担う 14 の専門領域を設けてそれぞれ独自の研究教育をすすめるとともに、全領域を美術専攻として単一組織にまとめてひとつの独立棟に配し、空間的・物理的にも交流が容易となるように工夫している。また、カリキュラム上でも相互交流と広領域的なアプローチをサポートする科目を提供する。

#### (2) 国際的な芸術教育・研究の場

本課程は、第二に、芸術研究における高度な国際交流の場として構想されている。長い歴史の中で伝統と革新がつねに共存してきた世界的にも希有な京都という古都にあって、世界に開かれた広い視野をもって次世代の芸術文化創造を担う人材を育成するため、外国人留学生に対しても特別入試を実施し、また交換留学プログラムや客員研究員の受け入れ等、国際的な芸術的学術的交流を推進する。

#### (3) 社会人再教育の場

本課程は、第三に、すでに社会人として活動している美術家・工芸家・企業等に属するデザイナーおよび研究機関等に属する美術研究者に対し、高度な水準での研究・研鑽を行う場を提供する。これは、個々の制作者・研究者それぞれが新たな研究展開をはかるとともに、彼らが活動する社会や所属する機関にその知見を還元し、創造的活力を高める上でも重要な意味を持つ。この目的のため、社会人に対して特別入試を実施する。

#### (4) 芸術と社会の交流の場

本課程は,第四に,社会や地域に開かれた高度な芸術研究機関として,展覧会やワークショップ, 公開講座,地域の芸術関連産業等に対する相談事業,産学共同研究などを通して,研究成果を 社会に積極的に公開する。

#### 12 履修課程及び修了要件

#### 履修課程

屋板层八	授業科目	履修単位				
履修区分	授業科目	小計	中計	合計		
	研究領域研究指導					
必修科目	造形計画論研究	1	3			
	総合制作・理論演習 2					
各領域 必修科目	領域研究演習	8	8	11		

#### 〔履修方法及び修了要件〕

必修科目のうち、「総合制作・理論演習」及び「造形計画論研究」2科目計3単位、各領域必修科目から「領域研究演習」8単位以上を修得し、「研究領域研究指導」により博士論文等を作成・提出して、審査及び最終試験に合格すること。

#### 13 授業等の内容

#### (1) 研究領域研究指導(博士論文·作品指導)

各学生に応じた指導スタッフが確立され、作品制作を含めて、博士論文等を作成するために必要な研究指導がなされる。学生は定期的に研究計画書と研究報告書を提出することが義務づけられている。指導スタッフは各学生に対し、主任指導教員1名、副指導教員2名で構成される。

#### (2) 領域研究演習(専門研究)

各学生がそれぞれの研究領域において自己の研究を展開していくための演習であり、主任指導教員を中心に、その研究領域に属する他の教員もしくは学生の行う研究内容と関連する他の領域の教員が副指導教員として加わって指導に当たる。学生は半期ごとの授業を4回(8単位)履修するが、それぞれの内容に応じて副指導教員を変更することもできる。

#### (3) 総合制作・理論演習(ゼミ形式での演習発表)

本演習は、学生各自の専門テーマを深化発展させるとともに、領域を超えた交流の場として、制作理論上の新たな展開を促すことを目的としている。学生は、指導教員を含む他の教員、学生等の前で自己の研究成果を発表し、ディスカッションを行う。博士課程在籍中に学生は2回の発表を行わねばならず、特に2回目は学位申請に向けて重要な意味を持つ。

#### (4) 造形計画論研究

博士課程担当教員が分担して毎週1回の授業を受け持ち、各専門領域ないし広領域の芸術上の諸問題について講義やディスカッション等を行う。また論文作成技術等に関する講義も組み込まれ、レポートが課される。

職名については2021年9月1日現在 ☆印は、2023年3月31日に退任予定の教員を示す。 ☆☆印は、2024年3月31日に退任予定の教員を示す。 ☆☆☆印は、2025年3月31日に退任予定の教員を示す。

教員の研究領域研究指導における指導資格については 2021年10月現在

(主)は、主任指導教員となれる教員を示す。

(副)は、副指導教員となれる教員を示す。

※は、研究領域研究指導において指導教員となれないが、 領域研究演習は担当可能である教員を示す。

	研究領域	成・担当教員		研究指導内容			
日本国	画			日本画の技術と理論の研究を通して日本画の創作を研究する。伝統的基盤を踏まえ,技法及び理論面での高度の研鑚を積み,新たな日本画の創造をはかる。			
(主)	川嶋 渉	教授		<ul><li>● 日本画表現における技法および物性に関する領域横断的研究</li></ul>			
(主)	奥村 美佳	准教授		● 日本画制作一般, 並びに日本画素材と表現技法の研究			
(主)	小島 徳朗	准教授		● 日本画制作一般,並びに岩絵具表現の可能性に基づく制作研究			
(副)	正垣 雅子	准教授		● 日本画表現の理論と技法による模写制作に基づいた日本及び東洋絵画の調査と表現研究			
(副)	谷内 春子	講師		● 日本画制作一般,並びに膠彩技法をもちいた空間表現の可能性に基づく制作研究			
(副)	三橋 卓	講師		● 日本画制作一般,並びに岩絵具を中心とした絵画表現の制作研究			
*	翟 建群	特任准教授	☆	● 日本画表現を軸にした中国絵画の理論と実践に基づく表現技法研究			
油画				油画を中心とした技術による実技と理論の研究を通して絵画の創作を研究する。絵画表現の理論研究と ともに、目的に応じた絵画材料や基底材(壁面を含む)の使用法について広汎かつ高度な研究を行い、 新たな絵画世界の創造をはかる。			
(主)	森口 サイモン	教授	☆	● 絵画を中心とした技法による作品制作研究			
(主)	石原 友明	教授	☆☆	● 絵画(映像を含む)を基盤とする視覚表現による制作研究			
(主)	渡辺 信明	教授		● 絵画を中心とした技法による作品制作研究			
(主)	法貴 信也	教授		● 絵画を中心とした技法による作品制作研究			
(主)	金田 勝一	教授		● 絵画を中心とした技法による作品制作研究			
(主)	伊藤 存	教授		● 絵画を中心とした技法による作品制作研究			
*	児玉 靖枝	特任教授	$\stackrel{\wedge}{\bowtie}$	● 絵画を中心とした技法による作品制作研究			
版画				版画の諸技法と理論の研究を通して版画の創作を研究する。「版」特有の表現方法の研究とともに,技法 の広汎かつ高度な研究を行い,新たな「版」表現の創造をはかる。			
(主)	田中 栄子	教授		● 版画制作及び絵画表現を用いた作品制作研究			
(主)	大西 伸明	教授		● 版画制作及びオブジェ・マルチプルの制作研究			
(主)	吉岡 俊直	准教授		● 版画制作及びデジタルメディアを用いた制作研究			
(副)	王 木易	講師		● 版画制作及びミクストメディアを用いたインスタレーション制作研究			
構想調	设計			映像、コンピュータ、音響などを含む表現媒体を用いたメディア・アートの創作を研究する。表現媒体としてのメディアそのものの理論的考察を踏まえ、現代的な多様なメディアについて広汎かつ高度な研究を行いつつ、新たな表現世界の創造をはかる。			
(主)	高橋 悟	教授	☆☆	● 造形メディアによる芸術表現全般の問題をふまえ,身体,空間,時間等を用いた制作研究			
(主)	石橋 義正	教授		● 映画・映像作品, 舞台, パフォーマンスの研究			
(主)	木村 友紀	准教授		● コンセプチュアルな思考を重視した芸術表現の研究			
*	人長 果月	特任准教授	***	● インタラクティブ・メディアを用いた制作研究			
彫刻				彫刻の実技と理論の考察を通して、彫刻の創造研究を行う。空間的、立体的表現に関する理論の研究と ともに、表現意図に応じた素材、技術の広汎かつ高度な研究を行い、空間や立体に作用する諸要素も計 測に入れて、新たな彫刻表現の創造をはかる。			
(主)	松井 紫朗	教授		● 彫刻における複数の視点による空間の分節化と,それらを関係づける媒体の制作研究			
(主)	中原 浩大	教授		■ 現代の社会における芸術活動の"AnotherModel"についての彫刻領域及び脱領域的アプローチによる 制作研究			
(主)	小山田 徹	教授		● 共有空間をキーワードに,様々な場の開発を研究			
(副)	金氏 徹平	准教授		● 現代社会における空間や事物の新たな関係性についての制作研究			
(主)	安藤 由佳子	准教授		● 都市生活における日常性,個人と社会の関係に基づく視覚的アプローチについての制作研究			

研究領域	或·担当教員		研究指導内容
ビジュアル・デザイン	,		人間社会における視覚を中心とした情報伝達に関し,表現・理論の両面から広汎かつ高度な制作研究を 行う。
(主) 辰巳 明久	教授	☆☆	● ビジュアルコミュニケーションデザインに関する制作研究
(主) 滝口 洋子	教授		● ファッションデザイン, テキスタイルデザインに関する制作研究
(主) 楠田 雅史	教授		● グラフィックデザイン全般とグラフィックデザインのインテリアデザインへの展開に関する制作研究
(主) 舟越 一郎	教授		● グラフィックデザイン全般に関する制作研究
環境デザイン			環境デザインにおける歴史,理論,実例の研究を行う。長期にわたって存続可能な環境のあり方を詳しく検証する。
(主) 藤本 英子	教授	☆☆	<ul><li>広域的な景観から、公共空間を中心とした身近なまちづくりまで、地域と結びついた環境デザインに関する研究</li></ul>
(副) 坂東 幸輔	准教授		● 建築, リノベーション, 古民家再生, 空き家を活かしたまちづくりに関する研究
(主) 島田 陽	准教授		<ul><li>家具から公共建築迄、様々なスケールの環境デザインにおいて、形態や色彩が人々の認識にどのよう に影響を与え作用するかについての研究</li></ul>
プロダクト・デザイン			プロダクト・デザインを中心にモノやコトの成り立ちや仕組みを考察し、より良い社会をデザインするための 理論的研究及び実践的研究を行う。
(主) 髙井 節子	教授		● モノのデザインを通した生活環境の構成と総合的なデザインの研究
(主) 牛田 裕也	准教授		● 形や意匠から受ける感覚的表現を具現化するための制作研究
※ 谷川 嘉浩	特任講師	☆	● デザイン理論の探求と,アイディアを効果的な表現や形に変えるための制作研究
陶磁器			陶磁素材による創作とその理論を研究する。伝統的な陶磁器制作の研究を踏まえ,新たな視点から技法研究や陶磁素材を用いた表現の理論的研究を行い,現代における陶磁表現の実践的研究を行う。
(主) 長谷川 直人	教授	☆☆	● 陶磁器による表現に関して,焼成や素材の探求という側面を中心に指導
(主) 重松 あゆみ	教授	<b>☆☆</b>	● 陶磁器による表現に関して,造形と色彩の観点から考察し,創造的作品制作の研究を指導
(主) 森野 彰人	教授		<ul><li>・ 陶磁器の幅広い技法と表現を「装飾」や、「近代京焼の歴史」の観点から考察し、創造的作品制作の研究を指導</li></ul>
(副) 若杉 聖子	准教授		<ul><li>「人間のこころ」「社会共同体」「自然」をテーマとした陶磁器デザイン及びやきもの表現の可能性の研究を指導</li></ul>
漆工			漆を素材とした創作とその理論を研究する。伝統的な漆工制作の研究を踏まえ,塗装方法の比較研究と 広く漆を用いた表現の理論的研究を行い,現代的な漆芸作品の創作を行う。
(主) 栗本 夏樹	教授		● 漆造形の可能性と加飾技法に関する制作研究
(主) 安井 友幸	教授		● 乾漆技法と様々な素材による漆造形の可能性に関する制作研究
(副) 笹井 史恵	准教授		● 漆造形の可能性と髹漆技法に関する制作研究
(副) 大矢 一成	准教授		● 漆と木を活かした造形制作と技術・表現に関する制作研究
染織			染織に関する創作とその理論を研究する。伝統的な染織制作の研究を踏まえ,新たな視点からの技法研究及び広く繊維を用いた表現の研究など,現代における染織表現の実践的研究を行う。
(主) 藤野 靖子	教授		● 織技法を用いた創作に関する実技研究
(主) 日下部 雅生	教授		● 型染による創作に関する実技研究
(副) 藤井 良子	准教授		● テキスタイルデザインおよび染織技法・素材の活用に関する制作研究
(副) 安藤 隆一郎	講師		● 蝋染の実技研究及び,他視点からの考察による染織の可能性の研究
(着任予定)			

研究領法	域·担当教員		研究指導内容
産業工芸・意匠			地域特有の産業活動にふさわしい形態デザイン,装飾デザインの実技と理論を研究する。 伝統的な工芸 意匠,加飾などデザインの研究とその応用化,産業化についての検証を行い,京都デザイン,日本的デ ザインなど工芸意匠の創造的研究を行う。
(主) 栗本 夏樹	教授		● 漆工における用途性のある作品制作の研究
(主) 森野 彰人	教授		<ul><li> ・ 陶磁器の幅広い技法と表現を「近代京焼の歴史」「道具」「技術」「生産」の観点から考察し、創造的作品制作の研究を指導</li></ul>
(主) 辰巳 明久	教授	☆☆	● ビジュアルコミュニケーションデザインの観点から伝統産業領域におけるデザインの研究
(主) 滝口 洋子	教授		● ファッションデザイン及びテキスタイルデザインの観点から伝統産業領域におけるデザインの研究
芸術学			芸術現象を対象とした芸術学の理論的研究を行う。芸術現象を対象とした理論的研究,歴史的研究や芸術環境に関する理論的研究,芸術振興に関する研究及び芸術形態に関する高度な理論研究を行う。
(主) 三木 博	教授	☆	● 美的人間形成論に基づく教育人間学の研究
(主) 吉田 雅子	教授		● 工芸史全般の歴史的研究及び染織工芸史の比較論的研究
(主) 加須屋 明子	教授		● 現代美術全般,中東欧の近現代美術並びに美学・芸術学の研究
(主) 田島 達也	教授		● 日本絵画史全般の歴史的研究
(主) 礪波 恵昭	教授		● 日本彫刻史全般の歴史的研究
(主) 畑中 英二	教授		● 日本を中心とする地域における陶磁器の歴史的研究
(副) 飯田 真人	教授		● 日本の学校における造形・美術工芸教育についての研究
(主) 竹浪 遠	准教授		● 中国絵画を中心とする東洋美術の歴史的研究
(主) 深谷 訓子	准教授		● 西洋美術史全般の歴史的研究及び西洋近世の美術理論研究
(副) 砂山 太一	准教授		● メディア技術や情報技術を経由した美術・デザインの理論および実技研究
保存修復			文化財の保存及び修復の技術とその理論の研究を行う。日本,東洋の絵画を中心に,文化財の模写,復 元を含む修復研究の実技的研究を行うとともに,保存修復に関する素材・技法についての科学的研究を 行う。
(主) 宇野 茂男	教授		<ul><li>● 保存修復技術に関して全般的な指導を行うとともに、特に、日本、東洋の絵画を中心とした修復・復元技術に関する実技的な指導</li></ul>
(主) 高林 弘実	准教授		● 文化財の材料・技法および保存修復に関する自然科学的研究
(主) 竹浪 遠	准教授		● 東洋絵画の保存修復技法に関する歴史的研究

論文指導教員	三木 博	教授☆	吉田 雅子	教授	加須屋 明子 教授	
	田島 達也	教授	礪波 恵昭	教授	飯田 真人 教授	
	畑中 英二	教授	上 英俊	教授	玉井 尚彦 准教授	
	磯部 洋明	准教授	竹浪 遠	准教授	深谷 訓子 准教授	
	中村 翠	准教授	砂山 太一	准教授	永守 伸年 講師	

## 論文博士について

本学には,博士(後期)課程を経ての学位取得とは別に論文博士の制度が設けられています。

本学の博士(後期)課程を経ない者であっても,本学の博士(後期)課程 を修了した者と同等以上の学力を有することが確認され,博士論文の審査に 合格した者に対して博士の学位を授与するものです。

なお,博士論文審査に申請する際,博士論文審査手数料として 57,000 円が必要となります。

また,<u>博士論文審査の申請に先立ち</u>,博士論文の主題等に適合する領域の 教員に連絡を取り,論文の出願をしたい旨,相談してください。本学の教員 については,本学ホームページ「美術学部・大学院」のページで確認するこ とができます。

#### 〔論文博士に関する問合せ先〕

京都市立芸術大学 教務学生課 美術教務担当 Tel: 075-334-2220 Fax: 075-334-2345

E-mail: fineart@kcua.ac.jp

〔論文博士以外に関する問合せ先〕

京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当 Tel:075-334-2238 Fax:075-334-2281

E-mail: admission-arts@kcua.ac.jp

## 令和4年度(2022年度)京都市立芸術大学大学院 美術研究科博士(後期)課程 入学願書

出願の種類	一般選抜	
志望研究領域 (○で囲む)	日本画 油画 ビジュアル・デザイン 陶磁器 漆工 保存修復	版画 構想設計 彫刻 環境デザイン プロダクト・デザイン 染織 産業工芸・意匠 芸術学
氏 <sup>フリガナ</sup> 名	男•女	生 昭和 平成 年 月 日 月 西暦 令和4年4月1日現在満年齢( )歳
現 住 所	〒( 自宅 TE 携帯 TE E-mail	
志願する研究領域にお	いて,主に行いたい研究に	について簡潔に述べること。
希望する主任指導教員	員 (研究指導内容一覧の(	主)の教員から選択すること)
第1希望	第2	2希望

※第1希望と第2希望には、別の教員を記入してください。 ※希望どおりに決定するとは限りません。

履歴	<b>霍書•</b>	業績書 (書ききれない場合は、別紙〈A4 縦長・横書〉に記入)
年	月	学歴・職歴・業績
		(学歴)高等学校卒業から記入のこと
		(職歴)
		(主たる業績)

受験番号 ※大学使用欄のため記入不要

# 誓 約 書

京都市立芸術大学美術研究科研究科長殿

令和4年度京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程入学試験の受験に際し、下記事項について誓約します。

記

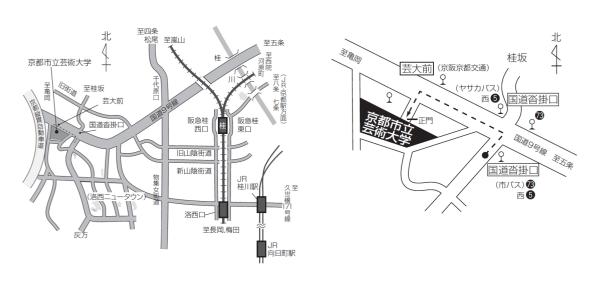
- 作品,ポートフォリオ,小論文等の提出物は,全て自身で制作又は解答したものに相違ありません。
- 入学試験に関する連絡を確実に受け取れるように、自身の責任においてメールアカウントの受信設定を適切に行います。
- オンライン面接の受験にあたり、自身の責任において機材や通信等の環境整備を行います。
- オンライン面接の受験にあたり、なりすまし受験等の不正行為を行いません。
- 募集要項の内容を理解して受験し、違反行為があった場合は京都市立芸術大学の処分に従います。

令和	年	月	日	
志望研	<u> </u>	域		
氏名				印

### 京都市立芸術大学(京都市西京区大枝沓掛町 13-6)

## ◆試験会場への略図

#### ◆試験会場周辺略図



## ◆試験会場への交通機関

令和3年11月1日現在

主要な駅	のりば	バスの種類	乗車時間	最寄りの バス停	バス停から 大学までの 所要時間
京都駅	C2のりば	京阪京都交通バス (2・14・28A 系統)	約 45 分	芸大前	徒歩すぐ
71. Ebrah	C5 のりば	市バス(73 系統)	約 45 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
阪急桂駅	桂駅東口 ②のりば	京阪京都交通バス (1・2・13・14・25・28A 系統)	約 20 分	芸大前	徒歩すぐ
1,5 (1.21 % )	桂駅西口	市バス(西5系統)	約 20 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
JR 桂川駅 (阪急洛西口駅経由)		京阪京都交通バス(11A 系統)	約 15 分	芸大前	徒歩すぐ
JR 向日町駅(JR 桂川駅・ 阪急洛西口駅経由)		ヤサカバス(1号系統)	約 25 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分

### 【注意】

- 1 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
- 2 バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

令和3年(2021 年)11 月 京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当 〒 610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13-6 Tel 075-334-2238 Fax 075-334-2281 https://www.kcua.ac.jp